

因島業界動向

2021年4月～6月

(令和3年4月～6月)

因島商工会議所

【因島経済動向調査(DI方式)報告】

(調査の概要)

1. 調査方法 FAX送信によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和3年6月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和3年7月～9月の先行き見通し
3. 調査時期 6月初旬～下旬
4. 調査対象 51社(製造業：17社 非製造業：34社)
5. 回収状況 回答 36社(製造業：14社 非製造業：22社)
回答率 70.6%

DI：各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格：DI = (下降) - (上昇)

製品・商品在庫：DI = (不足) - (過剰)

従業員：DI = (不足) - (過剰)

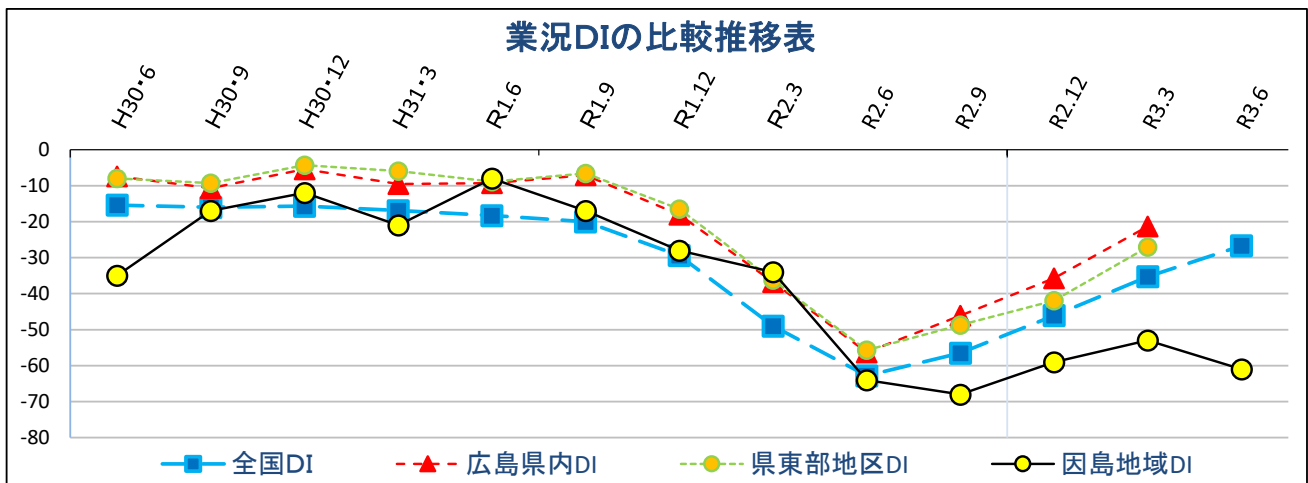
～因島景況の総括 令和3年6月期～

全業種DI（良い－悪い）は、▲61（前回3月調査▲53、R2.6月調査▲64）で前回調査から比較すると▲8ポイントとなった。

製造業では、船舶造修：▲40（前回3月調査▲80）と前回調査比で40ポイント上昇。その他機械金属：▲25（前回3月調査▲25）で、製造業DIは▲43（前回3月調査▲36、R2.6月調査▲73）と▲7ポイントとなった。

造船関連では、因島エリアにおいても新造船の受注が複数隻あり、改造工事の増加も見受けられたため、大幅な上昇となった。機械金属においても堅調に推移しているが、食料品や木製品等が前年比より大きく減少しており、製造業全体は減少となった。

非製造業では、建設業：▲75（前回3月調査▲50）、卸売業：▲100（前回3月調査▲60）、小売業：▲67（前回3月調査▲67）、運輸・サービス業：▲56（前回3月調査▲75）で、非製造業DIは▲73（前回3月調査▲65、R2.6月調査▲57）で前回調査より▲7ポイントとなった。広島県下では2回目となる緊急事態宣言の発令により、ほぼ全ての非製造業事業者が減少となった。職域接種等が始まっているが、ワクチンの安定供給とはなっていないこともあり、翌期にも影響が続く可能性がある。



【令和3年6月期 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R2.6月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	6%	27%	67%	▲ 61.0
(前回)	3%	41%	56%	▲ 53.0
(前年同月)	0%	36%	64%	▲ 64.0
製造業(当月)	14%	29%	57%	▲ 43.0
(前回)	7%	50%	43%	▲ 36.0
(前年同月)	0%	27%	73%	▲ 73.0
非製造業(当月)	0%	27%	73%	▲ 73.0
(前回)	0%	35%	65%	▲ 65.0
(前年同月)	0%	43%	57%	▲ 57.0

【令和3年7月～9月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI（良い－悪い）は▲41（前回3月調査▲62、R2.6月調査▲58）と前回調査から21ポイントの大幅上昇の見通しである。

製造業では、船舶造修：▲20（前回3月調査▲80）と60ポイント増加、機械金属：0（前回3月調査▲25）で、製造業DIは▲22（前回3月調査▲50、R2.6月調査▲60）で、28ポイントの上昇となった。新造船受注において、日本国内での成約が前年比で増加傾向にある他、修繕部門においても多くなる見通し。更に自動車、自転車部品においても堅調に推移していく見通しとなっている。

非製造業では、建設業：▲50（前回3月調査▲100）、卸売業：▲100（前回3月調査▲40）、小売業：▲33（前回3月調査▲67）、運輸・サービス業：▲33（前回3月調査▲75）で、非製造業DIは▲55（前回3月調査▲70、R2.6月調査▲57）となり、業種ごとに良し悪しはあるものの、緊急事態宣言中ほどの影響は出ないであろうとの見込が多く出ている。

【令和3年7月～9月の先行き見通し 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R2.6月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	6%	47%	47%	▲ 41.0
(前回)	6%	26%	68%	▲ 62.0
(前年同月)	6%	30%	64%	▲ 58.0
製造業(当月)	14%	50%	36%	▲ 22.0
(前回)	7%	36%	57%	▲ 50.0
(前年同月)	7%	26%	67%	▲ 60.0
非製造業(当月)	0%	45%	55%	▲ 55.0
(前回)	5%	20%	75%	▲ 70.0
(前年同月)	5%	33%	62%	▲ 57.0

～因島生産額・売上の総括 令和3年6月期～

全業種DI（良い－悪い）は▲59（前回3月調査▲41、R2.6月調査▲67）で▲18ポイントとなった。

製造業では船舶造修：▲40（前回3月調査▲60）、機械金属：0（前回3月調査0）で、製造業DIは▲29（前回3月調査▲21、R2.6月調査▲60）で▲8ポイントとなった。

非製造業では、建設業：▲50（前回3月調査▲50）、卸売業：▲100（前回3月調査20）、小売業：▲67（前回3月調査▲100）、運輸・サービス業：▲78（前回3月調査▲88）で、非製造業DIは▲77（前回3月調査▲65、R2.6月調査▲71）で、前回調査から▲22ポイントとなった。2回目となった緊急事態宣言による影響は、非製造業で大きく現れており、特に卸売業は前回調査より120%の減少となった。

【令和3年6月期 売上DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R2.6月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	8%	25%	67%	▲ 59.0
(前回)	21%	17%	62%	▲ 41.0
(前年同月)	0%	33%	67%	▲ 67.0
製造業(当月)	21%	29%	50%	▲ 29.0
(前回)	29%	21%	50%	▲ 21.0
(前年同月)	0%	40%	60%	▲ 60.0
非製造業(当月)	0%	23%	77%	▲ 77.0
(前回)	0%	35%	65%	▲ 65.0
(前年同月)	0%	29%	71%	▲ 71.0

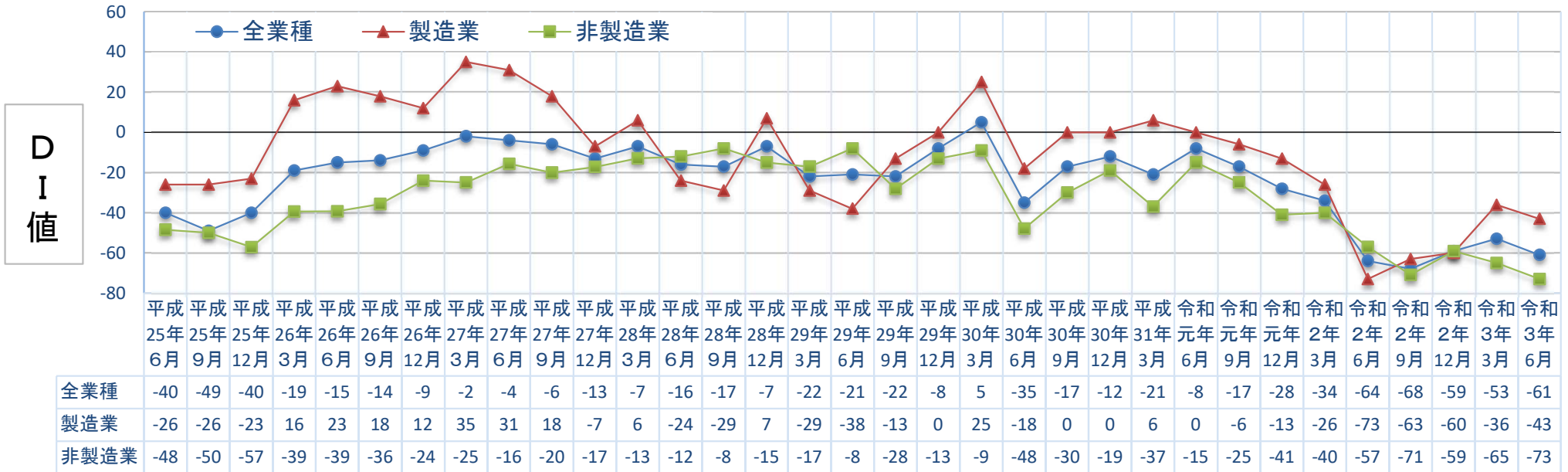
【令和3年 7月～9月の先行き見通し】

全業種DI（良い－悪い）は▲33（前回3月調査▲50、R2.6月調査▲29）で前回調査から見ると17ポイント上昇の見通しである。

製造業では船舶造修：▲20（前回3月調査▲60）、機械金属：▲25（前回3月調査▲50）で製造業DIは▲22（前回3月調査▲50、R2.6月調査▲60）で前回調査より28ポイント上昇の見通し。

非製造業では、建設業：▲50（前回3月調査▲100）、卸売業：▲83（前回3月調査▲20）、小売業：▲33（前回3月調査▲33）、運輸・サービス業：▲11（前回3月調査▲50）で非製造業DIは▲41（前回3月調査▲50、R2.6月調査▲47）と前回調査より9ポイント上昇の見通し。

因島地域の景況感の推移



因島地域の生産額・売上額の推移

